

社会福祉法人カトリック京都司教区カリタス会

アートのかで誰ひとり取り残さないまちを目指す

事業目的・概要

崇仁地域等に花壇を作り、地域の輪を広げる活動や、昨年度作成した「大きなピクニックマット」の成果報告会を開催する。住み慣れた地域の歴史・文化、生活等を守り、継承することで、住民、地域、福祉施設、学校、児童館等が共に歩むまちづくりを目指す。

今後の予定・次年度以降の事業展開

苗を「お裾分け」しながら、地域の方と共に花壇づくりを継続していきたい。子どもや学生が花壇を通じて、高齢者と協働できるように働きかけていきたい。新たな交流の場を創出したい。

事業成果

花の成長を地域の方々が見守ってくださっている。高校生が毎朝、水やりをしてくれている。その中で、高齢者と若者との交流の場が生まれている。花の成長を見守ることは、楽しみとなり、生きる意欲にもつながっている。環境の変化が高齢者にもたらす影響や孤独、孤立、また、つながりが希薄化している今だからこそつながることの大切さを、どの学区でも共通課題であることを考えていただくきっかけとなった。

具体的な課題やつながりたい団体イメージ

地域住民一人ひとりが、地域課題（孤立・孤独についてや認知症についてなど）を自分事として捉えていくことが難しい。また、若者と高齢者が双方に共通した関心事が定まらないことにより、世代を超えたつながりの場を作りにくい。